

◆特集◆ 進化し続ける 市民おもしろ塾



打合せの様子

「市民おもしろ塾」を御存じでしょうか。毎月2回、違う様々なテーマで講座を開いている市民グループです。能代市の歴史、医療・介護、俳句・短歌、時には映画を見たり、笑いをテーマに楽しんだりと分野は多岐にわたります。この「塾」を運営しているのはいわゆるシニア世代と呼ばれる方々ですが、お会いしてみるととにかくパワフル！さすが2016年から途切れることなく120回以上の講座を開催してきただけのことはあります。

このたび、11月の例会にお邪魔して運営委員の皆様にお話を伺いました。

「塾」を始めたきっかけは

古希の祝いに集まった同期生で何か能代で面白いことやらないか？と話したところがきっかけです。50回目を迎えたあたりで市民の中にも浸透してきて、講師が次の講師を推薦してくれたり軌道に乗ってきました。周りにも活動が評価され、秋田人変身力会議変身大賞、山下太郎地域文化奨励賞を受賞しました。

どのようにテーマや講師を決めているのですか

選ぶテーマもその時の関心事にフォーカスしていて、フードバンク、地球温暖化、終活、キャンプ、人工知能などなど。参加者のアンケートも参考にしつつ、常にアンテナを張って何をテーマにしてやるかを相談し、それぞれのネットワークを生かして講師をお願いしています。今まで講師をお願いした際には一度も断られたことはなく、むしろ、シニアの方々にボランティアでなんてすごい、応援しますと感心されます。



塾の様子

お話を伺っていると視野の広さに驚かされますが、心がけていることは

どうすれば能代がよりよくなっていくのかを常に考えます。

例えば、いつも使っている会場にエシベーターがなくシニア層やハンディキャップのある人は大変なことや能代の歴史や文化を伝える歴史民俗資料館の必要性など、市へ要望をしています。今話題の北高跡地の活用も話題に上っています。自分たちの満足感で終わらせないように心がけています。

今後の展望は

「塾」を次世代につなげていくことを展望しています。運営に若い世代を迎え、ホームページやフェイスブックで活動内容を発信することも積極的にしています。

取材を終えて

年齢や世代を超えて常に進化を続けようとする姿は、現役世代とその次の世代を励ますものでした。

この「塾」は、学ぶこと、話すこと、笑うこと、伝えることで生きることの楽しさをどの世代にも教えてくれる、そんな空間でした。皆様も参加してみたいかがでしょうか。

取材：相場未来子 畠 貞一郎

市民おもしろ塾

※原則毎月2回、土曜日に中央公民館で開催
 ※参加費 会員200円、非会員300円
 ※ホームページアドレス
<https://noshiro.hirogarden.net/>

